

※ASTは遠野農業活性化本部「あぐりステーション 遠野」の通称で、農業活性化のために県・JA・市の3者が合同機関として設立しました。

アスト ASTが行くっ!

元気いっぱいの遠野農業を目指して

— 農家自らの「こうしたい」を支援中 —

アストの事務所(☎1055)はJA八幡スタンド裏です。気軽にお問い合わせください。



コンクリートの床にハウスを建設するだけで簡単にできる簡易牛舎(建設中)

■低コスト牛舎の必要性
平成十七年度に市内で飼養されていた肉用牛は、約八千四百頭と県内一位を誇り、二十年前の約二倍に増加しています。近年は、環境負荷の少ない循環型農業を目指し、家畜の排出物を堆肥化して水田や畑に活用する「耕畜連携」の取り組みが進み、土作りを大事にする産地として、市場の評価が高まっています。

しかし、アストの調査で増頭意欲は高いものの初期経費の不安から、増頭に踏み切れない実態を把握しました。特に牛舎建設費用がネックになっていることが分かりました。

■今後の増頭に向けて
現在、簡易牛舎三棟を建設中で十月末には合計で十棟となる予定です。このことにより、本年度は肉用牛を二十頭増頭し、さらに七十頭分増頭できる簡易牛舎が確保できました。また、飼養方法を探りながら経営面での有効性も調査していく予定です。この結果を、低コスト飼養の普及に生かしていきます。

■アストホームページ開設
アストは、遠野テレビや広報遠野を活用し「アスト通信」として、生産者はもちろん、広く皆さんに向けて情報を発信しています。今回、さらにタイムリーで、細かい情報を提供するため、アストのホームページを立ち上げました。各種行事や事業のお知らせな

ど、役立つ情報が盛りだくさんのホームページには、市内の元気な事例集もあります。「アスト」ってこんなこともやってみませんか。内容は随時更新していきます。市内だけでなく全国へ遠野農業の魅力発信します。ホームページアドレスは <http://www.tonotv.com/member/s/ast1055>

市の重要産業の一つ『肉用牛生産』。増頭意欲はあるけれど、初期経費が大きくて...と、長年の悩みでした。そこに風穴を開ける新たなチャレンジが始まっています。



アストを視察する県南振興局職員に取り組み状況を説明する菊池孝二農業活性化本部長

■シリーズ新風③
ピーマンのトンネル栽培で手取り増を目指す
料理に何かと便利なピーマン。市内の主要農産物の一つで、昨年度の出荷額は約四千万円でした。アストの「ピーマントンネル栽培拡大支援事業」は、トンネル栽培を五町以上拡大する場合は、初期費用の一部を支援するものです。ピーマンは定植期に保温すると多く実が付く性質があり、畝の上にトンネル状のシートを張る「トンネル栽培」が効果的です。収穫期間も伸び、収量増が期待できます。この事業の利用者は五人。野菜ソムリエの資格を持つ青



ピーマンの収穫作業が始まった松崎町の新規ほ場

笹町の佐々木恵美子さんもその一人。トンネル組み立てに手間取ったものの「育児中でもできるピーマンは魅力的」と露地栽培より二割増量が目標です。子どもたちも「お母さんのピーマンはおいしい」と大喜び。パートと同程度の収入が見込めるので、女性にお勧めです」と話していました。



昨年の総合防災訓練で初期消火を体験する参加者

■被害想定
九月三日午前六時ごろ、市内全域でかなり強い揺れの地震を感じました。この地震により市内で震度6弱を記録し、各地で電気、電話が不通となり、橋などの一部が破壊されたほか、多くの建物が倒壊したため、多数の負傷者や閉じ込められた人が確認されました。住民は、避難を余儀なくされる災害状況となり、市内の広範囲にわたり住民の安否確認と避難行動の必要が生じました。今回の防災訓練は、市内一斉

■身の回りを再確認
実際に大規模な災害が起きた場合、救助活動のために消防や警察が現場に駆け付けるまでには、時間がかかると予想されます。また、災害は突然やってくる。だからこそ自分たちが暮らす地域には、どのような特徴があり、どのような危険が潜んでいるのかを再確認し、安全安心な地域づくりに向けた「わが家の備え」や「地域の協力」について、みんなで考えましょう。なお、当日は訓練中のサイレ

「もしものときのために…」家族での確認事項
もしものとき、家族がバラバラでは困ります。次のようなテーマで家族会議を開いて、連絡方法や避難場所などを確認しておきましょう。
◆家族の役割=火の始末、ガスの元栓、高齢者などの安全、持ち物の分担を確認しましょう。
◆消火について=消火器の使い方を確認しましょう。
◆家族間の連絡方法=電話などは使えない場合もあります。玄関の張り紙、伝言センターの利用、親せきなどを連絡中継地にして安否情報を伝えましょう。
◆避難場所、避難経路の確認=一時避難場所、収容避難所なども全員で確認し、落ち合うことができるようにしましょう。また、実際に歩いてみて避難経路の安全を確認しましょう。

ンなどでご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。問い合わせ先は市消防総務課 防災係(☎4311)

市防災訓練を実施します

安全安心な地域づくりに向けて「自ら何をすべきか」

日本は地震大国といわれるほど、地震が起こらない場所はありません。身近な場所では、宮城県沖地震(マグニチュード7.5前後)が今後三十年以内に99%の確立で発生するといわれています。住民一人一人が災害に備え、被害を最小限に食い止めるために「自らの身は自ら守り、自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識を持つことが必要です。今回の防災訓練を通して冷静な行動力を身に付けるとともに、地域の防災体制をもう一度確認してください。

住民避難訓練に参加してください
9月3日(日)午前6時~7時30分
市役所ほか市内全域

